

## 智光山公園こども動物園 夜間開園

来園した子供たちは懐中電灯を片手に動物たちを見て回り、昼には寝ている姿を見ることが多いムササビやふくろう、たぬき等の夜行性の動物たちが活動している姿を見ることができました。



7月の後半と8月にも夜間開園が行なわれる予定です。

6月12・13日の2日間、智光山公園こども動物園で夜間開園が行われました。この夜間開園では、普段見ることのできない動物たちの夜の姿を見ることができ

ます。また、動物園の職員の解説を聞きながら園内を回るガイドツアーも行われました。そして、同日2日間智光山公園ホテル鑑賞会も行なわれ、職員のホタルに関する説明を聞きながらおおよそ50匹のホタルが発光している様子を見物しました。



講話コーナーでは、歯科医師による「お口のエイジング」についての話が、ヘッド鏡を使った歯垢の細菌観察も行われ、

午後中には仲川市長も来場し、順番を待っている子どもに声を掛けたり、各階で行われている健診や相談の様子を見て回りました。今回は天候にも恵まれ、開始時間前から大勢の参加者で賑わい、終了時間までに956名が来場しました。

6月6日(日)、狭山市保健センターで「むし歯予防デー」が開催されました。これは、狭山市と狭山市歯科医師会が共催し、埼玉県歯科衛生士会狭山支部と狭山市薬剤師会が後援しているもので、毎年6月4日から10日までの「歯の衛生週間」にちなみ、歯の衛生に関する正しい知識の普及と啓発、むし歯の予防を目的として開催されています。

この日は歯科医師会会員の歯科医師20名が健診および相談にあたり、また、歯科衛生士約20名と明海大学クリニカルリサーチクラブの学生約20名が歯磨き指導にあたりました。歯磨き指導では、新しい歯ブラシが渡され、それを使って指導を受けました。また、小学生以下の子どもを対象に、むし歯予防を目的にフッ素塗布も無料で行われました。

細菌が動いている様子に怖がる子どももいました。狭山市薬剤師会コーナーでは、正しい薬の飲み方や薬なんでも相談が行われ、参加者は説明を聞いていました。全ての健診が終了すると、子どもたちに一人一個おもちやが配布されました。また、会場2階の「第二児童館コーナー」では、写真入りキーホルダー作り、輪投げ、パネルシアターなどが行われ、来場した子どもたちを楽しませました。

## むし歯予防デー

## 七夕まつり ポスター展

6月11日(金)から狭山市駅西口スカイテラス内にある狭山市産業労働センターで、入間川七夕まつりポスター展が開催されています。入間川七夕まつりPRの一環として行われ、狭山商工会議所に保管してある平成5年から今年開催予定の平成22年までのポスターが一堂に展覧されています。



展示場内には来場者のための短冊が用意されており自由に願い事を書くことが出来ます。願ひ事が記入された短冊は今年の8月7日、8日に開催予定の七夕まつりで飾られるという事です。

## 親子体操教室

6月7日(月)、農村環境改善センター多目的ホールを会場に、「親子体操教室」が開催されました。狭山市教育委員会生涯学習部体育課主催、社団法人日本3B体操協会の公認指導者のも



## 奥富小学校 田植え体験

6月1日(火)、奥富小学校で田植えの体験が行われました。始めに坂本校長が「今日は普段出来ない貴重な体験をさせていただきます。田植えを全身で感じてほしいと思

います」と児童たちに話しました。続いて、今回4年目の指導にあたる地元農家の松井さんより田植えの注意点として、田んぼの中にはむやみに足跡をつけないことや、苗は一箇所3本植えることなどが説明され、児童たちは8人程度のグループに分かれ順番に田植えを体験しまし

た。この体験は、奥富ならではの恵まれた環境を生かし、子どもたちに地域の人と関わり合いながら米作りに関する様々な体験を通して地域の良さを知り、郷

土を愛する心を育てることをねらいとしており、毎年5年生が総合的な学習の時間で田植えの体験を行っています。今回、5年生の2クラス60人が参加し、普段足を踏み入れることのない田んぼの中に入り、慣れない手つきで苗を植えていきました。この日植えられたの



はもち米の苗で、指導者である松井さんが5月始めに種を蒔いて育ててきたもの。予定では9月末ごろに実る予定でおおよそ70kgの収穫を見込んでいます。同小学校では秋に収穫などの体験を行い、収穫した米は2月頃に開催のもちつき大会で使われる予定です。

指導を行った同協会の金子さんは「小さいうちから体を動かすことで、骨や筋肉などの体が作られ、体力もつきます。また、お母さん同士の交流の場にもなっています。今後ぜひ、たくさん親子に参加していただきたい」と話しました。